

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）効果検証報告書

1. 対象事業の名称等

事業名	旧北陸街道周辺の歴史や佇まいに萌える"たび人"を巻き込んだまちづくりプロジェクト				
事業分野	まちづくり	総事業費	25,070千円	事業実施期間	令和5年度から令和7年度まで

2. 第2期滑川市総合戦略の位置付け

基本目標② 安心な暮らしを守るとともに、新たなひとの流れが生まれる魅力的なまちをつくる

3. 対象事業の概要

北陸街道の宿場町として栄えた旧町部において歴史的文化財を活用したイベントの実施、まちづくりの機運醸成と空き家の利活用を目的としたワークショップ等の開催及び外部人材招聘により、交流人口や関係人口の増加を図る。

4. 事業実施内容

【令和6年度】

まちづくりの機運醸成と担い手発掘を図るため、令和5年度に引き続き「いまはまだない仕事にやがてつく人たちの教室」を開催した。

また、計画エリアにあり、歴史的建造物としてエリアの魅力となっている国登録有形文化財である廣野家住宅の改修にかかる補助を行った。

改修終了後、廣野家を活用し、琴とフルートによる演奏会を開催した。

地域の歴史的建造物を活用し、文化芸術に触れる機会を創出することで、市民や来訪者に対し廣野家住宅の歴史的価値を伝えるとともに、文化財空間の新たな活用モデルとして実施した。

当日は多世代の来場者が集まり、演奏を通じた交流が生まれるなど、地域資源を活かした賑わいと関係人口の創出につながった。



国登録有形文化財を活用したイベントの様子

5. 対象事業の重要業績評価指標（KPI）と実績値

KPI		事業開始時点	1年目 (R5年度)	2年目 (R6年度)	3年目 (R7年度)	
KPI①	地域の交流人口・ 関係人口数（増 分）	目標値	0人	40人	90人	165人
		実績値	9人	50人	5,099人	
KPI②	空き家での店舗開 業件数（年間）	目標値	12件	1件	1件	1件
		実績値	12件	1件	4件	
KPI③	イベント等で活用し た国登録有形文化 財の数（年間）	目標値	4件	5件	6件	7件
		実績値	4件	5件	6件	
KPI④	なめりかわアンバサ ダーの認定者数 （年間）	目標値	0人	4人	4人	4人
		実績値	0人	4人	1人	

6. 実績値を踏まえた効果検証

本事業では、国登録有形文化財を活用したイベントにより、KPI①の交流人口は目標90人に対し5,099人の実績となった。KPI③は目標通り6件活用され、地域資源の魅力発信に寄与した。

また、KPI②の空き家を活用した店舗開業は目標1件に対し4件と順調に達成し、地域内での新たな事業展開につながった。

一方で、KPI④のなめりかわアンバサダーの認定者数は目標4件に対し1件と未達に終わったため、今後は制度の認知度向上に向けた広報強化や、候補者への積極的な働きかけを行い、担い手の確保を図る。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）効果検証報告書

1. 対象事業の名称等

事業名	旧町部の歴史文化や公共空間を再活用したまちづくりと観光拠点との連動による「街の再生」プロジェクト				
事業分野	まちづくり	総事業費	43,000千円	事業実施期間	令和6年度から令和8年度まで

2. 第2期滑川市総合戦略の位置付け

基本目標② 安心な暮らしを守るとともに、新たなひとの流れが生まれる魅力的なまちをつくる

3. 対象事業の概要

転入者等が旧町部などまちなかへの居住を選択することのインセンティブとするため、一帯の賑わいと利便性の向上を目的に旧町部エリアビジョンの策定と民間主導による公有不動産を活用した公民連携導入事業の調査等を実施する。また、旧町部と他観光拠点を接続させるために最新技術のAR等を活用したコンテンツを取っ掛かりとして域内の周遊化を図り、市内滞在時間を伸ばし、観光消費額を増やすことでさらなるまちの魅力向上に繋げ、多くの人が住みたくなるまちづくりを目指す。

4. 事業実施内容

【令和6年度】

旧町部の再生に向けて調査・検討を行い、基本計画案の作成

空き家・空き店舗等の所有者を対象に意識調査を行い、利活用の意向や課題を把握した。

事業エリア内の公共施設については構造点検調査を実施し、活用可能性を確認した。

これらを踏まえ、重点的に取り組むエリアを設定し、将来の整備方針としてランドスケープのビジョンとイメージ図を作成した。

併せて、民間投資の誘導や事業スキームの提案、事業費の概算を行い、委託事業者による基本計画案として取りまとめた。

また、市職員や市民の公民連携事業への理解醸成のため、タウンミーティングを開催した。



旧町部エリアのエリアビジョン

5. 対象事業の重要業績評価指標（KPI）と実績値

KPI		事業開始時点	1年目 (R6年度)	2年目 (R7年度)	3年目 (R8年度)
KPI①	地域の人口・世帯数	目標値	8,804人	8,824人	8,874人
		実績値	8,804人	8,667人	
KPI②	旧町部エリアに新たに入居した空き家、空き店舗の数（年間）	目標値	16件	5件	10件
		実績値	16件	7件	
KPI③	事業を通じて来客数が増加した店舗の数（増分）	目標値	0件	1件	5件
		実績値	0件	0件	
KPI④	情報コンテンツの利用回数（増分）	目標値	0回	0回	37,500回
		実績値	0回	0回	

6. 実績値を踏まえた効果検証

本事業では、旧町部への居住や回遊促進を目的に、エリアビジョンの策定や公有不動産を活用した公民連携事業導入可能性調査を実施した。

KPI②の空き家・空き店舗への新規入居は7件となり、目標（5件）を上回った。また、ARなど先端技術を活用した観光コンテンツの整備準備も進行中であり、今後の展開によって観光消費や滞在時間の増加が期待される。KPI③の来客数の増加は未達だが、今後、ARコンテンツや移動手段の整備を通して達成が望める。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）効果検証報告書

1. 対象事業の名称等

事業名	デジタル人材育成により実現する滑川イノベーション事業				
事業分野	ローカルイノベーション (しごと創生)	総事業費	73,240千円	事業実施期間	令和6年度から令和8年度まで

2. 第2期滑川市総合戦略の位置付け

基本目標④ 未来技術を活用し地域課題を解決する

3. 対象事業の概要

市内の中小企業・個人事業主に対してDXの伴走支援を行うことで、選ばれ続ける元気な企業づくりを推進するとともに、伴走支援を行うアドバイザーを地域の人材が担えるように人材育成を行い、デジタル人材の地産地消による地域経済の好循環を実現する。併せて誰もがデジタル社会の恩恵を受けて豊かな暮らしを送ることができるよう、デジタル機器を持たない・使えない方への情報伝達サービス等の実証実験を行う。

4. 事業実施内容

【令和6年度】

①DX伴走支援の実施

経営状況の可視化とデジタルツールの活用による課題解決を推進するため、市内10社に対し、DXアドバイザーが伴走支援を行った。

②DXアドバイザー育成講座の実施

将来的に地域の人材が地域の事業者のDXを伴走支援できる体制を構築するため、DXアドバイザー育成講座を実施した（6社8名が受講）。

③DXの啓発

市内中小企業等のDXの機運を高めるため、①・②の事業の成果報告会を開催したほか、DX啓発セミナーを3回開催した。



伴走支援の様子



成果報告会の様子

5. 対象事業の重要業績評価指標（KPI）と実績値

KPI		事業開始時点	1年目 (R6年度)	2年目 (R7年度)	3年目 (R8年度)
KPI①	地域における新規 雇用者数（増 分）	目標値	0人	12人	17人
		実績値	0人	0人	
KPI②	アドバイザーの支援を受けた 市内中小企業の営業利益 増加率（平均）	目標値	0%	0%	5%
		実績値	0%	0%	
KPI③	事業をきっかけに新たにデジ タル機器・サービスを利用し た高齢者等の人数（増 分）	目標値	0人	50人	310人
		実績値	0人	0人	
KPI④		目標値			
		実績値			

6. 実績値を踏まえた効果検証

アドバイザー育成講座受講者が直ちに開業することは難しいことから、R7年度ではR6年度受講者に対してステップアップ講座を実施することとしている。本事業と連携して実施した女性デジタル人材育成事業の受講者の就労は4月以降になったため、R7年度から新規雇用者数の実績値として上がる。伴走支援を受けた中小企業等については、いずれもDX推進度が向上しており、取り組みを進めることで営業利益の改善につながると考えられる。

KPI③に係る情報伝達サービスの実証実験はR7年度から開始した。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）効果検証報告書

1. 対象事業の名称等

事業名	「笑顔いっぱい 幸せいっぱい 光り輝く 滑川」プロジェクト				
事業分野	まちづくり	総事業費	28,756千円	事業実施期間	令和6年度から令和8年度まで

2. 第2期滑川市総合戦略の位置付け

基本目標② 安心な暮らしを守るとともに、新たなひとの流れが生まれる魅力的なまちをつくる

3. 対象事業の概要

AR技術によるホタルイカ定置網漁体験設備の導入や藻場造成に関する調査を大学機関等と連携して実施することにより、子どもたちを中心に市民の郷土愛を醸成し、ホタルイカが棲息する豊かな海を守る取り組みにつなげる。また、地域において不足しているGX人材を育成し、共有する仕組みを構築することで、地域全体でのカーボンニュートラルの取組を推進するとともに新たな雇用を創出する。

4. 事業実施内容

【令和6年度】

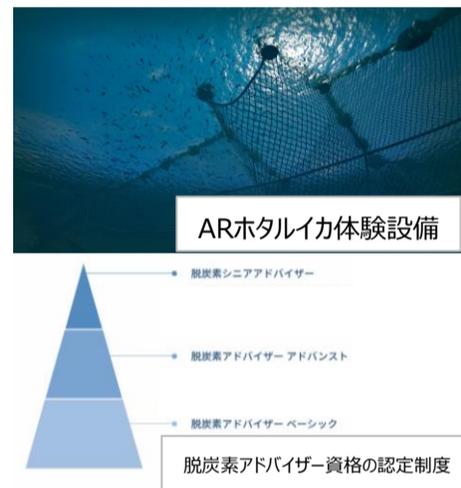
①ARホタルイカ体験設備の導入

タブレットを利用し、AR（拡張現実）で再現したホタルイカ定置網漁を様々な目線から体験できるコンテンツを制作し、ほたるいかミュージアムに導入した。コンテンツは、滑川市沿岸で産卵を終えたホタルイカを定置網で漁獲するという、漁法の持続可能性を伝える内容となっている。

②GXアドバイザー育成講座の実施

環境省の民間資格認定制度（脱炭素に関わる民間資格を、環境省がガイドラインに基づき、上から「脱炭素シニアアドバイザー」「脱炭素アドバイザーアドバンス」「脱炭素アドバイザーベーシック」の3段階のレベルで認定する制度）において認定された該当資格の取得を支援することで、地域で脱炭素に取り組む人材や企業の増加を目指すもの。

（令和6年度実績は、「脱炭素アドバイザーベーシック」に該当する資格の取得者：5名）



5. 対象事業の重要業績評価指標（KPI）と実績値

KPI		事業開始時点	1年目 (R6年度)	2年目 (R7年度)	3年目 (R8年度)
KPI①	地域の人口の増加数	目標値	32,654人	32,654人	32,659人
		実績値	32,654人	31,824人	
KPI②	進学・就職期（15～24歳）の若者の社会動態の増加数	目標値	-44人	-40人（4人）	-34人（6人）
		実績値	-44人	-13人（31人）	
KPI③	ほたるいかミュージアム入館者の増加数	目標値	53,805人	55,805人（2,000人）	57,805人（2,000人）
		実績値	53,805人	54,733人（928人）	
KPI④	GXアドバイザーの派遣を受けた企業数（増分）	目標値	0件	0件	20件
		実績値	0件	0件	

6. 実績値を踏まえた効果検証

市全体の人口であるKPI①は自然減（出生－死亡の人数が大幅なマイナス）が大きいことから、目標値を大幅に下回っている。日本全体で少子高齢化が進む中で困難な目標ではあるが、KPI②と併せて本事業の取り組みに限らず多方面から達成に向けて進めていく必要がある。

AR設備は令和7年度からの運用開始となったため、KPI③の増加には寄与していない。令和7年度は海環境改善に向けた藻場の造成等の取り組みも開始しており、滑川市の海への関心を高めるためにも設備を積極的に活用し、目標値の達成につなげていく。

脱炭素アドバイザーベーシックは脱炭素に関する基礎知識の習得段階であることから、即座に地域で活用することは難しい。今後、中級・上級レベルの資格取得者の活用方法についても、育成と併せて検討していく必要がある。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）効果検証報告書

1. 対象事業の名称等

事業名	まちなか賑わい創出拠点整備事業				
事業分野	まちづくり	総事業費	424,753千円	事業実施期間	令和3年度から令和4年度まで（事故線越）

2. 第2期滑川市総合戦略の位置付け

基本目標② 安心な暮らしを守るとともに、新たなひとの流れが生まれる魅力的なまちをつくる

3. 対象事業の概要

賑わい創出を目的とした中滑川複合施設を含む駅前空間の整備及び施設を活用した食育・健康づくりのイベント実施やチャレンジショップの配置による創業支援を行うことで、地域が抱えていた構造的な課題の解決を図る。

4. 事業実施内容

【令和6年度】施設活用状況

中滑川複合施設メリカが「地域防災の拠点」（備蓄倉庫、避難スペースなど）のみならず、幅広い世代の人々が集い、滞在・交流できる『新たな賑わい空間』の機能を併せ持つ複合施設として、1階では農作物直売所や屋内広場の空きスペースを活用したメリマルシェの開催、2階ではソーシャルカレッジとして、メリカで開業するテナントの起業支援やダンス教室なども実施している。また、ウォーキングによる健康づくりを一層推進するため、ウォーキングポールを活用したウォーキングイベントについても、本市の総合型地域スポーツクラブと連携して実施している。



農作物直売所「ひかる市」で賑わう様子

5. 対象事業の重要業績評価指標（KPI）と実績値

KPI		事業開始時点	1年目 (R3年度)	2年目 (R4年度)	3年目 (R5年度)	4年目 (R6年度)	5年目 (R7年度)
KPI①	複合施設の利用者数（年間）	目標値	0人	0人	10,000人	20,000人	30,000人
		実績値	0人	0人	0人	267,102人	213,293人
KPI②	女性の健康寿命（年齢）	目標値	83.91歳	83.91歳	84.11歳	84.41歳	84.71歳
		実績値	83.91歳	84.2歳	85.03歳	84.97歳	85.05歳
KPI③	事業を通じた新規開業数（年間）	目標値	0事業所	0事業所	2事業所	3事業所	4事業所
		実績値	0事業所	0事業所	0事業所	3事業所	0事業所
KPI④		目標値					
		実績値					

6. 実績値を踏まえた効果検証

中滑川複合施設メリカは、当初の目標を大幅に上回る利用者数となっており、指定管理者による柔軟な管理運営、イベント企画が功を奏している。